

## 28年間のあゆみ

- 1990・4 ● 「チェルノブイリ救援・中部」発足
- 1990・8 ● 日本の市民団体として初めて現地を訪問
- 1990・12 ● ミルクキャンペーン・クリスマスカードキャンペーン実施
- 1994・6 ● 被災地の小児病院に保育器を贈るため「いのちのゆりかごキャンペーン」実施
- 1996・4 ● 第1回目「スタディツアー」を実施
- 1996・9 ● 「移住者の村」の支援をスタート
- 1997・8 ● 事故処理作業者の支援をスタート
- 1999・4 ● 「チェルノブイリ奨学基金」を設立
- 2000・2 ● 「特定非営利活動法人チェルノブイリ救援・中部」発足
- 2003・10 ● 「チェルノブイリの祈り」の著者アレクシエーヴィチさん（ノーベル賞受賞作家）の講演会を開催
- 2006・8 ● 汚染地ナロジチ地区で「菜の花プロジェクト」スタート
- 2011・3 ● 東日本大震災発生。福島第一原発事故による被災地支援をスタート
- 2011・7 ● 福島県南相馬市にて、放射能測定隊を組織し、放射能汚染率マップを製作
- 2012・6 ● 放射能測定センター・南相馬（愛称：とどげ鳥）が正式に発足
- 2014・9 ● 南相馬で収穫したナタネから「油菜ちゃん」を製造。本格的に「南相馬菜の花プロジェクト」スタート。
- 2018・2 ● 被災者ボウケンさん・ホステージ基金ドンチェヴァさんの講演会を開催



### チェルノブイリ救援・中部 事務局

<http://www.chernobyl-chubu-jp.org>  
〒460-0012 名古屋市中区千代田5丁目11番33号  
ST PLAZA TSURUMAI 本館5階B号室  
TEL/FAX ◆052-228-6813 (月・水・金 10:00~17:00)  
E-mail ◆chqchubu@muc.biglobe.ne.jp  
アクセス ◆JR・地下鉄「鶴舞」駅から徒歩5分

### 放射能測定センター・南相馬(愛称:とどげ鳥)

<http://sokutei-minamisoma.org>  
〒975-0031 福島県南相馬市原町区錦町2-67  
TEL/FAX ◆0244-24-5166 (火~金 10:00~16:00)  
E-mail ◆todokedori@sokutei-minamisoma.org

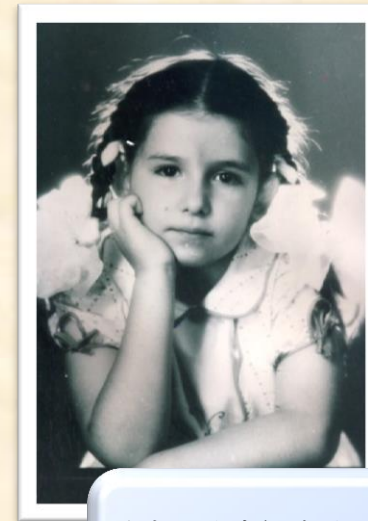
### 救援金の振込先(郵便振替)

記号番号 ◆00880-7-108610  
名義 ◆特定非営利活動法人チェルノブイリ救援中部  
※私たちは、戸別訪問による募金活動は一切しておりません。  
※不審なカンパ要請にはご注意ください。

### ウクライナ現地カウンターパート

団体名 ◆Chernobyl Hostages Fund  
住所 ◆Maidan Koroljova 12, Zytomyr 10014 Ukraine  
TEL/FAX ◆+380-412-22-8910

## 知ってください チェルノブイリ救援・中部 そして 福島



夕方にはお客さんと呼んで、新しい家での生活に喜びもひとしおでした。でも夜になってあの恐ろしい瞬間が起きました。避難があり、新しい生活もみな、夢のものになってしまったのです。それでも、その後ずいぶん長い間、生まれた土地に戻れるのだと信じていました。

ポプキン一家からの手紙より  
(写真:娘のアヌーシカ 8歳半)

特定非営利活動法人  
チェルノブイリ救援・中部 Since 1990

詳しくは、隔月発行の機関誌「ポリシー」をご覧ください。  
定期配布を希望される方は、事務局までお問い合わせください。



チェルノブイリ救援中部

# チェルノブイリ救援・中部は チェルノブイリそして福島を考えます

## チェルノブイリで...

1986年4月26日午前1時23分。  
旧ソ連ウクライナ共和国のチェルノブイリ原子力発電所が爆発。

広島・長崎に落とされた原爆の数倍の放射能が、ウクライナのみならずヨーロッパ、そして日本にも降り積もりました。  
土壌は汚染され、30キロ圏内は立ち入り禁止となり、16万人の人たちが移住を余儀なくされました。



## ●ミルクキャンペーン

降り積もった放射能が牧草を汚染し、ミルクが飲めなくなりました。  
私たちは事故から4か月後に汚染されていない粉ミルクを被災地に届けました。それ以降、毎年ミルクキャンペーンを行っています。



## ●事故処理作業支援

旧ソ連全土から集められた事故処理作業者は延べ70万人。彼らの多くは、放射能による重篤な健康被害に蝕まれています。  
私たちは事故処理作業者の支援を続けています。

## 福島で...

2011年3月11日午後2時46分。  
東日本にマグニチュード9の大地震が起き、津波の被害を受けた福島第一原発は、全電源を喪失、冷却機能を失い、メルトダウンを引き起こしました。  
この事故により多くの被災者を生み出し、困難な道を歩むこととなりました。



## ●とどけ鳥運営

南相馬市に「放射能測定センター・南相馬(愛称:とどけ鳥)」が設立されました。  
汚染マップ作りや、食品・土壌・水などの放射能測定を行い、被災者の生活の安全・安心に役立つ情報を発信しています。

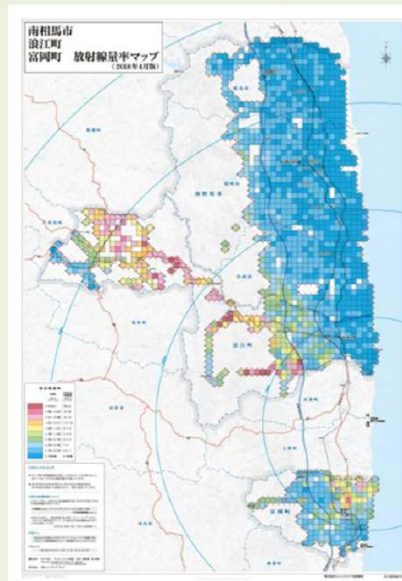


## ●チェルノブイリと福島をつなぐ

日本の被災者を心配した、ウクライナの消防士たち、医師や学校の先生たち、そして子ども達からたくさんの方の励ましのメッセージや絵画が届けられました。それをきっかけに日ウの交流が始まりました。

## ●南相馬菜の花プロジェクト

福島第一原発事故で被災した南相馬市で、年2回放射線量を測定し、MAPを作製。市民の方々の暮らしに役立ててもらっています。  
また、ウクライナで試みた菜の花プロジェクトを、南相馬の市民とともに始めました。そして放射能を含まないなたね油「油菜ちゃん」が完成しました。



## 農業再生・菜の花サイクル

